

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月13日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 中広  
 コード番号 2139 URL <http://chuco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 後藤 一俊  
 (氏名) 松田 隆

TEL 058-247-2511

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	915	18.4	2		7		6	
21年3月期第1四半期	1,121	3.0	8		11		13	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	1.06	
21年3月期第1四半期	1.98	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
22年3月期第1四半期	2,395		434		18.1	68.02
21年3月期	2,324		437		18.8	68.38

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 434百万円 21年3月期 437百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期					
22年3月期					
22年3月期(予想)					

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期累計期間	1,900	15.8	10		2				0.00
通期	4,000	7.3	50		35		30		4.69

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[注] 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	6,706,000株	21年3月期	6,706,000株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	313,887株	21年3月期	313,887株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	6,392,113株	21年3月期第1四半期	6,589,854株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績はさまざまな要因によりこれらの業績予想とは異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出や生産等、一部では下げ止まりの兆しが見られ、景気の底入れ感を感じられるものの、依然として雇用情勢の悪化や個人消費の冷え込みの影響は大きく、国内の景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が属します広告業界につきましても昨年の秋以降、広告出稿は急激に減少し厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社では当第1四半期におきまして、フリーマガジン事業では、フリーマガジンを新たに1誌発行いたしました。

また、広告SP事業では、ソリューション部門を、主力である求人紙の急激な業績悪化から当第1四半期会計期間において廃止し、人員につきましても主にフリーマガジン事業へ異動いたしました。

なお、従来ソリューション部門を構成しておりました部門のうち、求人情報紙部門、通信販売部門、PR部門、IT部門は広告SP事業として、イベント・セミナー部門はフリーマガジン事業といたしました。

先行き不透明な状況の中、採算が悪化している部門には早急に施策し、フリーマガジン事業へのシフトをより鮮明なものとしたいたしました。

この結果、売上高は915百万円（前年同期比18.4%減）となったものの、利益率の高いフリーマガジン事業の比率が高くなったことから、売上総利益は、327百万円（前年同期比5.2%減）と、売上の減少幅よりも縮小することが出来ました。

しかしながら、販売費及び一般管理の削減に努めたものの、営業損失は2百万（前年同期は8百万円の損失）となり、以下、経常損失は7百万円（前年同期は11百万円の損失）、四半期純損失は6百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

※以下、前年同四半期との比較におきましては、再編後の事業部門に組替えて表示しております。

a. フリーマガジン事業

フリーマガジン事業では、5月に『G i F U T O』（岐阜県岐阜市、163,000部発行）を新たに発行いたしました。

このことにより、当社が発行するフリーマガジンは合計19誌、総発行部数は1,023,460部（平成21年6月30日現在）と、100万部を突破いたしました。

この結果、フリーマガジン事業の売上高は350百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

b. 広告SP事業

広告SP部門では、当社が注力いたしておりましたハウジング業界からの受注が大幅に減少いたしました。

また、求人紙の受注につきましても昨年実績を大幅に下回ったこと等から、売上高は564百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて70百万円増加し、2,395百万円となりました。これは主に、現金及び預金が61百万円、投資有価証券が4百万円等が増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて73百万円増加し、1,961百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、買掛金が41百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は2百万円減少し、434百万円となりました。自己資本比率は18.1%であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の事業環境につきましても、引き続き厳しい環境の下で推移するものと予想しておりますが、他の要因による業績の変動も現時点では予測が困難なため、平成21年5月13日発表の通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	577,696	516,062
受取手形及び売掛金	542,223	540,871
商品	2,891	2,993
仕掛品	6,802	18,793
原材料	151	141
その他	75,892	62,953
貸倒引当金	△27,272	△25,910
流動資産合計	1,178,385	1,115,905
固定資産		
有形固定資産		
土地	717,948	715,273
その他(純額)	247,068	242,920
有形固定資産合計	965,016	958,193
無形固定資産	20,825	20,980
投資その他の資産		
投資有価証券	68,168	63,714
長期貸付金	117,260	120,260
破産更生債権等	125,079	125,121
差入保証金	167,811	167,332
その他	11,062	11,262
貸倒引当金	△257,777	△257,819
投資その他の資産合計	231,604	229,870
固定資産合計	1,217,446	1,209,044
資産合計	2,395,831	2,324,950

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	402,162	444,144
短期借入金	812,000	692,000
未払法人税等	2,111	6,523
賞与引当金	13,160	16,000
その他	425,666	298,372
流動負債合計	1,655,101	1,457,040
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	293,543	316,742
その他	12,412	14,078
固定負債合計	305,955	430,820
負債合計	1,961,057	1,887,860
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	378,950	378,950
資本剰余金	69,450	69,450
利益剰余金	11,433	18,227
自己株式	△22,934	△22,934
株主資本合計	436,899	443,693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,125	△6,604
評価・換算差額等合計	△2,125	△6,604
純資産合計	434,774	437,089
負債純資産合計	2,395,831	2,324,950

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	1,121,476	915,349
売上原価	776,497	588,295
売上総利益	344,979	327,054
販売費及び一般管理費	353,660	329,622
営業損失(△)	△8,681	△2,568
営業外収益		
受取利息	342	814
受取配当金	523	443
受取地代家賃	3,732	3,890
その他	557	1,564
営業外収益合計	5,156	6,713
営業外費用		
支払利息	7,222	6,111
その他	1,136	5,659
営業外費用合計	8,358	11,770
経常損失(△)	△11,883	△7,625
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	2,840
特別利益合計	—	2,840
特別損失		
固定資産除却損	—	820
投資有価証券評価損	61	24
特別損失合計	61	845
税引前四半期純損失(△)	△11,945	△5,630
法人税、住民税及び事業税	1,083	1,163
法人税等合計	1,083	1,163
四半期純損失(△)	△13,028	△6,793

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△11,945	△5,630
減価償却費	5,081	5,042
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,485	1,320
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,197	△2,840
受取利息及び受取配当金	△866	△1,258
支払利息及び社債利息	7,222	6,111
投資有価証券評価損益 (△は益)	61	24
固定資産除却損	—	820
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,681	△722
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△21,811	12,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,495	△44,815
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△2,174	42
その他	△4,317	17,065
小計	△58,243	△12,757
利息及び配当金の受取額	553	941
利息の支払額	△6,891	△5,248
法人税等の支払額	△3,883	△4,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,465	△21,464
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△49,000	△9,000
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△97,969	△12,531
差入保証金の差入による支出	△1,653	△877
差入保証金の回収による収入	508	158
長期貸付けによる支出	△16,000	—
長期貸付金の回収による収入	2,000	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,114	△19,250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	120,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△19,998	△26,649
自己株式の取得による支出	△2,649	—
配当金の支払額	△17,203	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,148	93,348
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△120,430	52,633
現金及び現金同等物の期首残高	201,861	102,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,431	155,601

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## (1) 販売実績

事業の種類別	前第1四半期会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		比較増減		前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
フリーマガジン事業	282,979	25.2	350,783	38.3	67,804	24.0	1,298,486	30.1
広告SP事業	838,497	74.8	564,565	61.7	△273,931	△32.7	3,014,488	69.9
合計	1,121,476	100.0	915,349	100.0	△206,126	△18.4	4,312,975	100.0

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 前第1四半期会計期間及び前事業年度の販売実績は、再編後の事業の種類別に組替えて表示しております。

## (2) 仕入実績

事業の種類別	前第1四半期会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		比較増減		前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
フリーマガジン事業	135,186	17.2	166,733	28.3	31,547	23.3	648,285	22.1
広告SP事業	652,320	82.8	421,460	71.7	△230,859	△35.4	2,283,378	77.9
合計	787,506	100.0	588,194	100.0	△199,312	△25.3	2,931,663	100.0

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 前第1四半期会計期間及び前事業年度の仕入実績は、再編後の事業の種類別に組替えて表示しております。